山形県広報誌県民のあゆみ令和８年 11 月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

＜表紙＞

山形県広報誌／県民のあゆみ　令和８年 11 月号　第 654 号

県民のあゆみ 11 月号

県政を支えた歴史を刻み、
郷土の飛翔を見守り続ける

令和 8 年 8 月 21 日山形県政 150 周年

特集１　戦争の記憶継承の取組み（２ページ）
特集２　やまがた教育パートナーズ（４ページ）
特集３　県職員の給与の状況（５ページ）
奏であう人（8 ページ）
ピックアップ 県政 150 周年（12 ページ）
潜入レポート！（16 ページ）

今月の表紙
山形県郷土館文翔館
写真は、大正５年に完成した２代目の県庁舎。国の重要文化財に指定され、山形の歴史と文化を今に伝えています。

やまがたサンデー５でも県政 150 周年を記念した番組を放送しています。
ユーチューブからご覧ください。
https://www.youtube.com/watch?v=g6uaN995i-k

＜2 から 3 ページ＞

タイトル

特集 山形の戦争の記憶を、未来へ

戦後 80 年以上が経過し、戦争を直接体験した人から話を聞くことが難しくなっています。
県では、戦争の資料や記憶を、未来へ確実に引き継ぐための取組みを進めています。

山形にもあった戦争

「戦争」と聞くと、激しい地上戦のあった沖縄や、原子爆弾が投下された広島・長崎などを思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし、山形にも戦争は確かにありました。
県内からも多くの人々が戦地へ赴き、命を落としました。また、旧満州（現在の中国東北部）への開拓団には多くの県民が参加し、その数は全国２位でした。県内に目を向けても、東根市には旧海軍の神町航空隊が置かれ、金山町には満州開拓青少年義勇隊の訓練施設として建てられた「日輪舎」が現在も残るなど、各地に戦争の痕跡を見ることができます。さらに、家族が大切に保管してきた写真や手紙、当時の生活用品、家庭内で語られてきた体験があります。
山形にも、地域や家庭に、一人ひとりの戦争の記憶が残されています。

失われつつある戦争の記憶

戦後 80 年以上が経過し、戦争を体験した方が少なくなる中、地域や家庭に残る写真や手紙などの資料は、当時の出来事や人々の暮らしを知るための貴重な手がかりとなっています。
県が実施した県民アンケートでは、18・３パーセントの方が戦争に関する資料が自宅や実家などに「あると思う」と回答。一方、その資料保有者のうち 15・５パーセントが「今後、処分する可能性がある」としており、貴重な資料が失われていく可能性があります。
また、世代交代が進むにつれ、資料が残っていても、その由来や背景がわからなくなることも考えられます。地域や家庭に残された資料と、それにまつわる記憶をどのように守り、次の世代へつないでいくのかが課題となっています。

戦争に関する資料の保有状況

ないと思う　63.4 パーセント
あると思う　18.3 パーセント
わからない　11.8 パーセント
あったがすでに処分した　5.9 パーセント
無回答　0.5 パーセント

戦争に関する資料の今後について
家族で保管していきたい　40.1パーセント
整理したいが方法がわからない　13.4パーセント
処分する可能性がある　15.5パーセント
専門機関に相談したい　3.5パーセント
わからない　18.3パーセント
無回答　9.2パーセント

記憶を受け取り、次の世代へ
戦争に関するモノや記憶を次の世代へつないでいくためには、今残されている資料を保存するとともに、そこから戦争について知り、学び、伝えていくことが大切です。
県では今年度、若者が戦争の資料や記憶を受け取り、次の世代へつないでいく活動を支援するモデル事業を実施しています。また、小学生を対象としたワークショップや「語り継ぐ戦争の記憶展」を開催するなど、さまざまな世代が戦争について知り、考え、受け継いでいく取組みを進めています。
若い世代によるモデル事業の実施
令和８年度は、大学生を中心とする２つの学生団体の取組みを採択しました。若い世代が戦争の記憶を受け継ぐ活動を進めています。そのうちの一つ「山形大学まちの記憶を残し隊」は、戦争を体験した方への聞き取りを進め、戦争体験や地域に残る記憶の記録・保存に取り組んでいます。
小学生ワークショップの開催
夏休みに合わせて実施し、山形市や南陽市などから小学生約20名が参加しました。開拓団として満州に渡った両親のもと、現地で生まれ、引揚げを体験した齋藤幸子さんから当時の話を伺いました。参加した小学生は、戦争について考え、感じたことや学んだことをまとめた自分だけのノートを作成しました。
これからの継承に向けて
県では、こうした具体的な取組みを進めるとともに、戦争関係資料の保存や記憶の継承を将来にわたって確実に行うため、今後のあり方について議論する検討委員会を設置しました。
委員会には、学識経験者のほか、地域で資料の保存や継承に取り組む方などが参画しています。戦争関係資料の収集・保存をはじめ、戦争体験者の証言の記録、資料のデジタル化や公開、学習での活用、若い世代が継承にかかわる機会づくりなど、幅広いテーマについて検討を行っています。
今後、委員会での議論を踏まえ、地域や家庭に残る貴重な資料を守り、山形の戦

争の歴史や記憶を次の世代へつないでいくための取組みを進めてまいります。

写真キャプション１　モデル事業の実施風景：戦争体験者からの記憶の聞き取り
写真キャプション２　講師の齋藤幸子さん（満州引揚げ体験者）
写真キャプション３　ノート作りに取り組む小学生

「語り継ぐ戦争の記憶展」を開催
８月１日から 27 日まで、県生涯学習センター「遊学館」で「語り継ぐ戦争の記憶展」を開催しました。戦争体験者などへの聞き取りをもとに作成したパネルや、戦争体験をつづった手記、関連資料などを展示し、山形に残る戦争の記憶を紹介しました。

ユーチューブからご覧ください。
やまがたサンデー5 でも「未来へつなぐ戦争の記憶山形の挑戦」を放送しています。
https://www.youtube.com/watch?v=a_oWrlnVbKo

問い合わせ　地域福祉推進課　電話番号 023-630-2995

＜4 から 5 ページ＞

タイトル
やまがた教育パートナーズで
子どもたちに豊かな学びと体験活動を

やまがた教育パートナーズって何？
「やまがた教育パートナーズ」は、山形県の教育を学校だけでなく社会全体で支える取組みです。
この取組みに賛同し、登録いただいた企業・団体の教育支援活動をポータルサイトで紹介し、学校やＰＴＡ、子ども会などで活用いただけるようにしています。
このポータルサイトを通して、企業・団体と学校などがつながり、子どもたちに豊かな学びや体験活動を届けることができます。

企業・団体の主な教育支援活動の内容

企業見学
就業体験
探究学習支援
ハザードマップを活用して地域の災害リスクについて学び、自宅周辺の地形や想定される災害の種類を調べました。
支援企業：応用地質株式会社　山形営業所
写真キャプション　川西町立川西中学校での取組みの様子
施設や物品の貸出
講師・指導者の派遣
夏休み中の放課後児童クラブで、生活リズムを整える大切さを教えてもらいました。クイズや動画でみんなで楽しく学ぶことができました。
支援企業：米沢ヤクルト販売株式会社
写真キャプション　児童クラブまどか（米沢市）での取組みの様子

ＰＴＡ親子行事や子ども会などでも利用できます！原則無償（注釈）で教育支援活動を実施！
利用方法はとってもカンタン！利用者登録も不要です！ まずはポータルサイトにアクセス！

１　サイトにアクセス！
こちらからポータルサイトにアクセスします。
https://partners.kyodoai-yamagata.jp

２　企業・団体を探す！
支援内容、分野、対象、地域等から企業・団体を探します。

３　企業・団体に連絡する！
企業・団体ページの「連絡先」に電話又は、メールをして日程等を調整します。

４　支援を受ける！
企業・団体の特徴をいかした魅力的な体験ができます！

（注釈）実費相当分を負担いただくことがあります。詳しくは企業・団体と打ち合せの際にご確認ください。

パートナーになっていただける企業・団体を募集しています！
教育支援活動にご協力いただける企業・団体のみなさまは、ぜひ「やまがた教育パートナーズ」へのご登録をお願いします。
企業の規模や事業形態は問いません。地元の商店などの登録も大歓迎です。子どもたちの学びを支えるとともに、地域とのつながりを深めるきっかけにもなります。見学や体験、講話など、無理のない範囲でご協力ください。社会全体で子どもたちの成長を応援していきましょう。

企業・団体の方は、こちらから登録できます！
https://www.pref.yamagata.jp/700015/kyoiku_partners.html

トピックス
８月６日に、県教育委員会と山形県商工会議所連合会、山形経済同友会、山形県商工会連合会、一般社団法人山形県経営者協会、山形県中小企業団体中央会は、「教育活動及び人材育成の促進に関する連携協定」を締結しました。
県教育委員会と各団体が力を合わせながら、子どもたちの教育活動の充実につなげていきます。

問い合わせ　生涯教育・学習振興課　電話番号 023-630-3344

タイトル

県職員の給与の状況

■県職員給与の決定のしくみ
県職員の給与は、民間事業従事者の給与実態などを踏まえた人事委員会勧告に基づき、国や他の地方公共団体との均衡も考慮して、県議会の審議を経て条例で定められています。

■行財政改革の取組み
本県では、これまで、平成７年度の「山形県行財政改革大綱」以来、９次にわたり行財政改革推進プランなどを策定し、適正な定員管理及び給与管理を進めてきました。
引き続き、「山形県行財政改革推進プラン 2025」（令和７～11 年度）に基づき、無駄のない簡素で効率的な組織機構、人員体制の実現に向けて取り組むとともに、職員給与については、適正な制度運用を行っていきます。

人件費の状況（普通会計決算令和７年度）

●歳出額（A）／6,821 億 2,055 万円
●人件費（B）／1,462 億 1,947 万円
●人件費率（A 分の B）／21.4 パーセント
●令和６年度の人件費率（参考）／22.6 パーセント
（注釈）人件費とは、職員に支給される給与、退職手当、地方公務員共済組合負担金、特別職に支給される給与・報酬等の総額をいいます。

職員給与費の状況（普通会計予算令和８年度）

職員数（A）（令和８年１月１日）／16,052（233）人
給与費の内　給料：710 億 467 万円
給与費の内　職員手当：119 億 8,764 万円
給与費の内　期末・勤勉手当：293 億 3,346 万円
給与費合計（B）　1,123 億 2,576 万円
職員１人当たりの給与費（A 分の B）／700 万円
（注釈１）職員手当には退職手当を含みません。
（注釈２）括弧内の数は、定年前再任用短時間勤務職員又は暫定再任用短時間勤務職員であり、外書きです。

職員の平均給料・平均給与の月額及び平均年齢（令和８年４月１日現在）

一般行政職　給料月額／345,800 円　給与月額／424,800 円　年齢／43 歳 5 月
警察職　給料月額／355,100 円　給与月額／485,300 円　年齢／39 歳 8 月
高等学校教育職　給料月額／410,800 円　給与月額／452,600 円　年齢／47 歳 4 月
小中学校教育職　給料月額／385,200 円　給与月額／415,900 円　年齢／42 歳 10 月
技能労務職　給料月額／340,000 円　給与月額／377,900 円　年齢／54 歳 4 月
（注釈）給与月額は給料月額に職員手当の月額を加えたものです。

職員の初任給の状況（令和８年４月１日現在）

一般行政職　大学卒業程度／給料月額　234,900 円　高校卒業程度／給料月額　202,000 円
警察職　警察官Ａ／給料月額　269,000 円　警察官Ｂ／給料月額　227,700 円
高等学校教育職　大学卒／給料月額　263,200 円　高校卒／給料月額　214,700 円

小中学校教育職　大学卒／給料月額　263,200 円　高校卒／給料月額　214,800 円

定員の状況（各年４月１日現在）
知事部局／令和７年度　4,117 人／令和８年度　4,117 人
議会事務局／令和７年度　30 人／令和８年度　30 人
選挙管理委員会事務局／令和７年度　4 人／令和８年度　4 人
監査委員事務局／令和７年度　16 人／令和８年度　16 人
人事委員会事務局／令和７年度　15 人／令和８年度　15 人
海区漁業調整委員会事務局／令和７年度　1 人／令和８年度　1 人
内水面漁場管理委員会事務局／令和７年度　0 人／令和８年度　0 人
警察本部／令和７年度　2,350 人／令和８年度　2,350 人
教育委員会計／令和７年度　9,751 人／令和８年度　9,786 人／増減　プラス 35 人
教育委員会の内　教育局／令和７年度　213 人／令和８年度　214 人／増減　プラス１人
教育委員会の内　小・中・高等学校等／令和７年度　9,538 人／令和８年度 9,572 人／増減　プラス 34 人
普通会計部門計／令和７年度　16,284 人／令和８年度　16,319 人／増減　プラス 35 人
企業局／令和７年度　165 人／令和８年度　165 人
病院事業局／令和７年度　1,908 人／令和８年度　1,889 人／増減　マイナス 19 人
合計／令和７年度　18,357 人／令和８年度　18,373 人／増減　プラス 16 人
（注釈）知事部局に公営事業会計の流域下水道事業会計（13 人）を含んでいます。

職員の期末・勤勉手当（令和８年４月１日現在）
期末手当　６月期／1.2625 月分　12 月期／1.2625 月分　計／2.525 月分
勤勉手当　６月期／1.0625 月分　12 月期／1.0625 月分　計／2.125 月分
計／　６月期／2.325 月分　12 月期／2.325 月分　計／4.65 月分
（注釈）国家公務員（計 4.65 月分）と同じ支給月数となっています。

職員の退職手当（令和８年４月１日現在）
勤続 20 年の場合の支給率／自己都合　19.6695 月分／勧奨・定年　24.586875 月分

勤続25年の場合の支給率／自己都合　28.0395月分／勧奨・定年　33.27075月分
勤続35年の場合の支給率／自己都合　39.7575月分／勧奨・定年　47.709月分
最高限度額／自己都合　47.709月分／勧奨・定年　47.709月分
その他加算措置：定年前早期退職特例措置（2パーセントから20パーセント加算）
1人当たり平均支給額：一般職員　882万円／全体　1,082万円
注釈１　国家公務員と同様の制度となっています。
注釈２　退職手当の１人当たり平均支給額は、令和７年度に退職した職員に支給された平均額です。なお、一般職員とは、全職種に係る職員から警察職及び教育職を除いた職員です。

特別職の給料月額等（令和８年４月１日現在）
知事：給料月額等　1,289,000円
副知事：給料月額等　991,000円

議員報酬
議長：給料月額等　939,000円
副議長：給料月額等　839,000円
議員：給料月額等　808,000円

期末手当
知事・副知事・議長・副議長・議員：給料月額等　6月期 1.725月分／12月期 1.725月分／計　3.45月分
（注釈）期末手当の額は、給料月額等に100分の45の割合を乗じて得た額を当該給料月額等に加算した額に支給月数を乗じた額です。

問い合わせ　人事課　電話番号023-630-2024

詳しい内容は、ホームページでご覧になれます。
https://www.pref.yamagata.jp/kensei/recruit/jinjikyuuyo/index.html

＜6から7ページ＞

タイトル　**県政トピックス**　こんなことがありました

１）コロラド州姉妹県州締結 40 周年、ハワイ州と新たに姉妹県州締結

「米国コロラド州・ハワイ州訪問」（令和 8 年 7 月 26 日から 8 月 1 日 米国）

本県と米国コロラド州は、姉妹県州盟約締結から 40 周年を迎え、記念事業に出席のため同州を訪問し、両県州の友好関係のさらなる維持・発展を確認しました。また、米国ハワイ州とは、「つや姫」をきっかけに交流が広がり、教育や観光、文化、産業など、さまざまな分野で交流を重ねてきました。そしてこのたび、7 月 30 日に姉妹県州の盟約を締結しました。これからも、両地域との交流を大切に、友好の輪をさらに広げていきます。

２）まいにち、まんてん。ゆきまんてん

水稲新品種「ゆきまんてん」ロゴデザインなどの発表（令和 8 年 8 月 7 日 山形市）

水稲新品種「ゆきまんてん」の来年秋のデビューに向けて、ロゴデザインやキャッチコピーなどを発表しました。

ロゴデザインは、山形の米づくりに欠かせない“太陽・自然・水”を“赤・緑・青”で表現し、中心に「ゆきまんてん」の白さをイメージさせる“雪だるま”のシルエットをデザインしました。

「ゆきまんてん」が多くの方に親しまれるお米として育っていくよう、今後も関係機関と連携して取り組んでいきます。

３）令和 8 年熊本地震の被災地へ職員を派遣

（令和 8 年 8 月 16 日から 熊本県）

7 月 28 日に熊本県で発生した最大震度 7 の地震に関し、熊本県御船町（みふねまち）へ応援職員を派遣しました。御船町では、災害に係る住家の被害認定調査業務に従事し、被災された方々の生活再建に向けた支援に取り組みました。

派遣先では、町役場や熊本県内市町村の職員、本県を含む他県から応援派遣された職員が一丸となって災害対応に当たりました。県では、今後も熊本県の復旧・復興と被災された方々の生活再建を支援してまいります。

４）実りの秋、今年もおいしいお米ができました

「つや姫」「雪若丸」稲刈りイベント（令和 8 年 9 月 14 日 山形市）

米どころ山形の実りの秋を発信するため、吉村知事は山形市立本沢小学校の皆さんとともに、「つや姫」「雪若丸」に加え、来年秋本格デビューを予定している

「ゆきまんてん」の稲刈りを行いました。今年は気温が高い日も低い日もありましたが、農家の皆さんの培われた技術と努力により、良質でおいしいお米が実りました。今後も全国へ広く PR し、販路拡大に取り組みながら、「つや姫」「雪若丸」をより多くの皆さまに愛されるお米に育てていきます。

５）山形で暮らし、働く。私らしい未来を描く交流会

ヤマガタウーメンズリンクイン山形（令和 8 年 9 月 15 日 山形市）

若手社会人女性と女子学生が交流する「ヤマガタウーメンズリンクイン山形」を開催しました。吉村知事は「皆さんが輝ける未来をともに創っていきたい」とあいさつし、山形での暮らしや仕事、挑戦したいことについて語り合いました。グループトークでは「人生にはさまざまな選択肢があると分かった」「当たり前をアップデートすることが大事」などの声が寄せられました。県では、今後も女性が山形でいきいきと暮らし、働ける環境づくりを進めていきます。

知事コラム

「スピリット・オブ・ジャパン・デンバー」初出展！

本県と米国コロラド州は姉妹県州盟約締結から今年で 40 周年。７月には県議会代表団や関係団体の皆さまと同州を訪問し、記念レセプションでは、ジャレッド・ポリス州知事とともに両県州の友好関係を今後さらに維持・発展させていくことを宣言し、宣言書に署名してまいりました。

この 40 周年を契機として、９月には、県と山形県酒造組合が連携し、州都デンバーで 2024 年から開催されている日本文化発信イベント「スピリット・オブ・ジャパン・デンバー」に初出展！ 県産日本酒や芋煮（しょうゆ味・みそ味）を提供したところ、多くの方から「おいしい！」と喜んでもらい、山形のイベントでは約６・５メートルの大鍋で芋煮を調理すると紹介したら「信じられない！」と口々に驚いていたそうです。

山形打刃物やけん玉など、山形の高い技術力や文化に直接触れられるブースでは、親子連れにけん玉が大人気！銀山温泉や出羽三山などもＰＲし、「ぜひ山形に行ってみたい」との声をいただいたとのことでした。

こうした取組みにより、友好の絆をさらに深め、さまざまな分野で交流を一層積み重ねていけたらいいですね！

山形県知事　吉村美栄子

＜8 から 9 ページ＞

タイトル　**奏であう人** ボリューム 89

撮影場所　山形県産業科学館（山形市）

キーワード　宇宙がひらく希望、子どもたちと築く山形の未来

山形における宇宙の利活用と普及啓発を行う「宙の種（そらのたね）」の責任者亀井信一さんと、国際宇宙ステーションでの経験を生かし、宇宙を身近な学びとして届ける佐藤涼子さんに、宇宙技術の可能性と、宇宙から描く山形の未来をお聞きしました。

亀井信一さん（千葉県）

1960 年新庄市生まれ。千葉県在住。1986 年東北大学大学院修了後、三菱総合研究所に入社。宇宙実験、分子ナノテクノロジー実験、研究開発戦略や科学技術政策などに従事。政策・経済研究センター長、研究理事を経て、2024 年より山形大学寄附講座教授に就任。宇宙産業開発ゼミ「宙の種」を開設し、人工衛星などの利活用プロジェクトを企画。

写真キャプション　山形の子どもたちの夢や願いを電子データ化し、人工衛星とともに宇宙へ届けられるベニバナ・サット「宙の種レター」プロジェクト。集められた思いは、1 年間地球を巡ったのち、地球の重力に導かれて大気圏へ突入し、流れ星になる。

佐藤涼子さん（鶴岡市）

1985 年東京都生まれ。鶴岡市在住。国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟の実験運用管制官として、つくば宇宙センターにて宇宙実験の運用に携わる。鶴岡市への移住後、2016 年に鶴岡スペースステーションを立ち上げ、2020 年からは「庄内から宇宙へ！」と題したイベントを定期開催。多くの人々に、宇宙の魅力と可能性を伝えている。

写真キャプション　鶴岡スペースステーションが企画し、国際宇宙ステーション（ISS）に滞在する宇宙飛行士・油井亀美也さんとリアルタイムでの交信を実施。山形と宇宙を結んだ交信は初となり、参加した子どもたちが宇宙を身近に感じる機会となった。

心にあった宇宙への想いが再び動きはじめる

亀井さんが宇宙にひかれた原点は、子どもの頃リアルタイムで見たアポロ 11 号

の月面着陸でした。
「夜に空を見上げると、いつもと同じ月がありました。でもそこには今、人がいる。子どもながらにそのことにとても感動したのです」。
大学院修了後、国際宇宙ステーションで行う実験の考案や、宇宙空間を利用した材料研究などに携わった亀井さん。その後、宇宙の仕事から長く離れていましたが、山形大学（一財）森の学校寄附講座への招聘を機に、その想いが再び動きはじめます。
「宇宙の仕事からしばらく離れていましたが、山形に来て、もう一度やってみようと。そこで始めたのが超小型人工衛星と宇宙の利活用を発掘するプロジェクトです」。
一方、佐藤さんは中学生の時に気象について学んだ授業をきっかけに、空のさらにその向こうにある宇宙へと興味が広がったと言います。
「思春期でいろいろ悩むこともありましたが、空を見上げて宇宙のことを考えると、自分の悩みなんてちっぽけだなと思って。気持ちが軽くなったんです」。
大学で物理学を学んだ後、電源メーカーに就職。宇宙航空研究開発機構（ジャクサ）との仕事を通じて宇宙への思いが再び芽生え、やがて国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟の運用に携わる企業へ転職、その後実験運用管制官となりました。
「宇宙に関する仕事がしたいという気持ちを持ち続けていたら、少しずつ道がつながっていきました」。
東日本大震災後に暮らしを見つめ直し、仕事が一段落した後、鶴岡市へ移住。地域の人にも宇宙の魅力を知ってほしいと始めた小さな観測会は、「鶴岡スペースステーション」の活動へと広がっていきました。

宇宙を入り口に山形の可能性を広げる

「『宙の種（そらのたね）』で見据える最終的な目的は、宇宙を舞台に山形でこれをどう使うか。たとえば衛星データの利活用は、より高い付加価値を生み出します。現在、超々小型人工衛星のプロジェクトを始動中ですが、これらを契機に将来、山形に宇宙産業が育てば、人材が集まり、明るい未来につながると考えています。」と亀井さんは言います。
佐藤さんが大切にしているのは、宇宙をもっと身近なものとして子どもたちに届けることだと言います。
「鶴岡には、科学や宇宙に触れられる施設がそれほど多くありません。でも私は、住んでいる場所は関係ないと思っています。どこにいても宇宙の情報に触れられる時代。昨年は観測会や宇宙飛行士とのオンライン交流などのイベントを行いました。参加してくれた子どもの中に、将来は宇宙飛行士になりたいと言ってくれる子も出てきました。そういう言葉を聞くとうれしいですね」。

微笑む佐藤さんに亀井さんが笑顔で応えます。
「明るい未来を創るのは、子どもたち自身です。私たちは、子どもたちに宇宙への憧れや好奇心の種をまき、未来の可能性を広げる機会も提供しています」。
亀井さんの言葉に佐藤さんがゆっくりと言葉を重ねます。
「山形には頑張っている人たちがたくさんいます。山形にいても挑戦できる、夢を持てるんだということを伝えたいと思っています」。

宇宙へ挑む技術と次代を育む学び

「実は、山形にはジャクサと取引のあるものづくり企業が数多くあります。しかし、主戦場は宇宙をどう使うのかに移りつつあります。宇宙関連のソフトウエア産業が山形に根付いていけば、より多くの人をひきつけ、元気な山形につながると思っています。」と話す亀井さんに佐藤さんが応えます。
「宇宙をきっかけに何かに興味を持ったり、やってみたいことを見つけたりしてくれたらうれしい。未来をつくる人を、地域のみんなで育んでいけたらいいですね」。
宇宙を新ビジネスの場としたい亀井さんと、宇宙を身近な学びとして届ける佐藤さん。二人が見つめている先には、山形の未来があります。

＜10 から 11 ページ＞

タイトル　**県議会だより**　第 117 号

県議会の最新情報コチラから今すぐアクセス！
https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html

９月定例会の概要

令和８年９月定例会は、９月 16 日に、10 月８日までの 23 日間を会期として開催されました。
令和８年７月の大雨被害への対応のほか、次代を担う若者の教育や広域交通ネットワークの充実などの未来志向の県づくりに向けた施策をより一層推進するとともに、本県が抱える様々な課題に対応するための令和８年度一般会計補正予算案や、山形県地域未来基金条例の設定、委員の任期満了に伴う山形県教育委員会委員の任命など、知事提出の議案を審議しました。
今定例会では、コメ余りがもたらす影響と本県の米農家への支援や、庄内地域の更なる発展に向けた交通ネットワークの整備に対する知事の考えなど活発な質疑質問が行われました。

９月定例会で質疑質問を行った議員

詳しくはこちらから
広報誌「県議会やまがた」（公民館等で閲覧可）
https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/outline/assemblypublic/kengikaiyamagata.html

会議録検索システム（注釈　９月定例会分は 12 月以降に掲載予定）
https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html

録画中継
https://gikai.pref.yamagata.jp/yamagatapref/vod

代表質問（９月２４日）

自由民主党　相田光照 議員（米沢市選挙区）
◆コメ余りがもたらす影響と本県の米農家への支援　など

県政クラブ　髙橋淳 議員（鶴岡市選挙区）
◆庄内地域の更なる発展に向けた交通ネットワークの整備に対する知事の考えなど

一般質問（９月２５日）

自由民主党　森大輝 議員（南陽市選挙区）
◆鳥獣被害対策に係る中間支援組織の人材確保　など

日本共産党山形県議団　関徹　議員（鶴岡市選挙区）
◆山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備事業の是非　など

県政クラブ　石川正志 議員（新庄市選挙区）
◆総合支庁の組織体制見直しの狙い　など

自由民主党　伊藤香織 議員（山形市選挙区）
◆次世代に戦争の記憶をつなぐ取組み　など

予算特別委員会（9 月 29 日・30 日・10 月 1 日）

自由民主党　阿部恭平 議員（寒河江市・西村山郡選挙区）

◆公立さがえ西村山医療センター（仮称）の開院１年延期　など

県政クラブ　齋藤俊一郎 議員（東根市選挙区）
◆民間活力を生かした山形空港の経営強化と利用拡大　など

県政クラブ　佐藤　寿 議員（酒田市・飽海郡選挙区）
◆持続可能な中山間地域農業の実現　など

自由民主党　相田日出夫 議員（東置賜郡選挙区）
◆河川の維持管理における機械の導入　など

自由民主党　佐藤文一 議員（新庄市選挙区）
◆スマート農業機械の利用拡大に向けた仕組みづくり　など

県政クラブ　吉村和武 議員（山形市選挙区）
◆県政 150 周年に当たっての所感と県議会に期待すること　など

公明党　菊池文昭議員（山形市選挙区）
◆ドクターヘリの運航状況とドクターカーの導入　など

自由民主党　森谷仙一郎議員（天童市選挙区）
◆東北農林専門職大学附属農林大学校における学生の就農に向けた支援　など

議会用語
代表質問
交渉団体である会派（注釈）を代表し、県政全般にわたって行う質問のこと。知事の議案説明を受け議場で行います。なお、事前に議長に発言主旨を通告します。
注釈：議長に届け出た会派のうち所属議員が５人以上のもの。山形県議会では、自由民主党と県政クラブの２会派になります。
（令和８年８月時点）

北海道・東北六県議会議長会議、議員研究交流大会を開催
８月２５日、福島県郡山市内で北海道・東北六県議会議長会議が開催されました。本県からは田澤議長と渋間副議長が出席し、交通網の整備促進と財源確保、食料・農業・農村政策の確立など計２３項目を政府に要望することを決定

しました。
また、２６日には同市内で北海道・東北六県議会議員研究交流大会が開催されました。福島県酒造組合 特別顧問　鈴木賢二氏による、福島県産酒についての講演を聴講した後、「道県産品振興」、「地方公共交通施策」、「過疎地域の振興」の３つの分科会に分かれて、各道県議会議員が意見交換しました。

写真キャプション１　議長会議の様子
写真キャプション２　議員研究交流大会の様子

大雨災害現場の緊急現地調査を実施
令和８年７月２６日の大雨により発生した飯豊町・大巻橋周辺の護岸崩落による被害状況や今後の見通しなどについて、８月３日、建設常任委員会が緊急に現地調査を行いました。

写真キャプション　視察の様子

女性・若者と県議会議員との意見交換会を開催
８月５日、女性や若者を中心とした県民から、県議会を身近に感じ、政治への関心を深めていただくことを目的として、一般財団法人酒田コミュニティ財団関係者、酒田市地域おこし協力隊および東北公益文科大学生の皆さんと県議会議員との意見交換を行いました。ワークショップ形式で、「若者が主体的にまちづくりに関わる場づくり」と「若者を支援する上での課題」について活発な意見が交わされました。

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催
生徒・学生が県議会を身近に感じ、主権者としての政治参加意識を高めていただくことを目的として、生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催しました。少人数のワークショップ形式で、本県の現状や取組みなどについて活発に話し合いが行われました。

新庄志誠館高等学校（７月７日）
「地域活性化について」、「新庄から活躍する人材の育成について」および「10代の政治参加について」をテーマに、高校生自らの積極的な行動・発信の重要性や新庄市の活性化の方法などについて様々な意見を出し合いました。

小国高等学校（９月１０日）

「小規模校の特色ある教育を持続可能にする仕組み」、「若者が『山形で暮らしたい』と思える地域づくり」をテーマに、交通網の整備や小国町の魅力の発信の必要性など、生徒それぞれの学びや体験に基づく意見交換を行いました。

１１月２０日（金曜日）　地域議員協議会を開催します

県議会では、各地域における行政課題や施策展開について幅広く調査・審議するため、地元議員が出席する地域議員協議会を開催しています。各総合支庁を会場に、今年は 11 月 20 日（金曜日）に開催します。傍聴可能ですので、ぜひ足をお運びください。

◎東南村山地域（村山総合支庁 本庁舎） 午後２時から
◎西村山・北村山地域（村山総合支庁 西村山地域振興局） 午前 10 時から
◎最上地域（最上総合支庁） 午後 2 時から
◎置賜地域（置賜総合支庁 本庁舎）午後２時 30 分から
◎庄内地域（庄内総合支庁） 午後１時 30 分から

協議会の概要はこちらから
https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/gikaikatsudou/kyogikai/index.html

お問い合わせは　編集発行/県議会事務局政策調査室
電話番号　023-630-2846
詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

＜12 から 13 ページ＞

タイトル
ピックアップ！県政 150 周年 記念イベントを開催

8 月 21 日、山形県は県政 150 周年の節目を迎えました。同日、県庁で、園児や児童はじめ約 150 名の県民の皆さまとともに、くす玉割り、演奏、パフォーマンスなどで記念の日をお祝いしました。
また、9 月 9 日には、やまぎん県民ホールで、約 1400 人の方々にご参加いただき、記念式典・記念コンサートを開催しました。式典の中で吉村知事は、「この 150 年で培われた知恵と勇気を未来を切り拓く力に変えて、変化を恐れず、たゆ

まない挑戦を続けることが重要」と呼びかけました。上山藩鼓笛楽隊による演奏、「ふるさとの未来」をテーマにした作文コンクールの最優秀賞受賞者による発表、本県出身の姉妹ユニット「シュガーシスターズ」と山形北高音楽科の生徒による山形県民の歌「最上川」の合唱など、式典は厳かな中にも温かみのある雰囲気に包まれました。続く記念コンサートでは、50 年前の県政 100 周年でも演奏いただいた山形交響楽団が登場。山形ゆかりの曲やクラシックの名曲などが披露され、未来の山形への思いを共有した時間となりました。
県政 200 周年、300 周年と本県の明るい未来に向けて、県民の皆さまと力を合わせ、決意を新たに、これからも挑戦を続けてまいります。

記念式典当日の様子をユーチューブで公開しています。
https://www.pref.yamagata.jp/020026/150anniversary/150memorial0909.html

記念映像はこちら
https://www.pref.yamagata.jp/020026/150anniversary/kineneizo.html

タイトル　**地域の旬だより**　各地からの情報をお届けします。

最上エリア　高校生が旅立つ前に学ぶ ヒト・モノ・コト

「新庄・最上ジモト大学」は、最上地域の高校生を対象に、進学や就職などで地域を離れる前に、地域の魅力や課題を具体的に知ってもらうことを目的として、大人との対話を通して地域を学ぶプログラムを提供しています。
プログラムは、最上地域の自治体や企業・団体の皆さまが提供しており、医療・農林業・ものづくり・地域の歴史文化など、多彩な内容がそろっています。
ジモト大学は今年度で 10 年目を迎えました。これまでに実施したプログラムは約 300 件、参加した高校生は延べ 6000 人以上！今後も魅力あるプログラムを提供し、地域の新たな活力を生み出せるよう、地域一体となって取り組んでいきます。

写真キャプション１　みんなで金山町を街歩き
写真キャプション２　チェーンソーを操作して林業の仕事を体験

プログラムの様子はこちら
インスタグラム

https://www.instagram.com/shinjo.mogami_jimotodaigaku/?next=%2F

フェイスブック
https://www.facebook.com/jimotodaigaku/?locale=ja_JP&http_ref=eyJ0cyI6MTc5MTUwNTM1MDAwMCwiciI6IiJ9

問い合わせ　最上総合支庁総務課連携支援室 電話番号 0233-29-1236

タイトル　**県内おススメ文化・スポーツ情報**

やまぎん県民ホールイベント情報
ミュージカル『スパイファミリー２爆弾犬篇アンド豪華客船篇』
シリーズ累計発行部数 4,200 万部を超える人気コミック「スパイファミリー」。男はスパイ、少女は超能力者、女は殺し屋。そして未来を予知する能力を持つ大型犬が新たに加わり、ちょっと変わった《仮初めの家族》の新たな物語が始まる。フォージャー家に会えるのは東北エリアでは山形だけ！！

制作　東宝　コピーライト　遠藤達哉／集英社

開催日時
12 月 27 日（日曜日）から 29 日（火曜日）
27 日（日曜日）：正午／午後 5 時
28 日（月曜日）・29 日（火曜日）：正午
出演
ロイド・フォージャー：森崎ウィン／木内健人（ダブルキャスト）、ヨル・フォージャー：唯月ふうか／真彩希帆（ダブルキャスト）、アーニャ・フォージャー：泉谷星奈／古座野叶／真野麗花（トリプルキャスト）、シルヴィア・シャーウッド：朝夏まなと／真瀬はるか（ダブルキャスト）ほか
料金
S 席：15,000 円　A 席：10,000 円 B 席：7,000 円　アンダー18：5,000 円

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせは やまぎん県民ホールチケットデスク　電話番号 023-664-2204
（受付時間：水曜日から月曜日 10 時から 19 時）

山形交響楽団演奏会情報

真島俊夫 没後 10 年　山形交響楽団×東京佼成ウインドオーケストラ合同演奏会

世界最高峰の吹奏楽団東京佼成ウインドオーケストラを山形に迎え、山形交響楽団との共演で吹奏楽と管弦楽の多彩な響きをお届けします。鶴岡市出身で日本を代表する作・編曲家 真島俊夫の名曲を存分にお楽しみください。

開催日時

11 月 27 日（金曜日）午後 7 時

出演

指揮：大井剛史

吹奏楽・管弦楽：東京佼成ウインドオーケストラ

山形交響楽団

演目

真島俊夫：月山 - 白き山 - 、最上川舟唄による交響的楽章、三つのジャポニスム

和泉宏隆（真島俊夫編）：宝島 ほか

会場

やまぎん県民ホール　大ホール

料金

S 席：5,800 円　A 席：4,800 円　B 席：3,000 円

（注釈）学生（24 歳以下）S、A、B 席各半額

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問合せ

山響チケットサービス 電話番号 023-616-6607

県民文化芸術振興課 電話番号 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時

11 月 3 日（火曜日・祝日）午後 2 時

対戦チーム

徳島ヴォルティス

日時
11 月 25 日（水曜日）午後７時
対戦チーム
ジュビロ磐田

日時
12 月 6 日（日曜日）午後１時
対戦チーム
いわきＦＣ

日時
12 月 13 日（日）午後１時
対戦チーム
ヴァンラーレ八戸

会場は全て ND ソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム
日時
11 月 4 日（水曜日）午後７時 05 分
対戦チーム
アースフレンズ東京 Z
会場
山形県総合運動公園

日時
11 月 20 日（金曜日）午後７時 05 分
11 月 21 日（土曜日）午後３時 05 分
対戦チーム
金沢サムライズ
会場
山形市総合スポーツセンター

日時
12 月 5 日（土曜日）午後３時 05 分
12 月 6 日（日曜日）午後４時 05 分
対戦チーム
ベルテックス静岡
会場
山形県総合運動公園

日時
12 月 9 日（水曜日）午後７時 05 分
対戦チーム
福井ブローウィンズ
会場
山形県総合運動公園

日時
12 月 19 日（土曜日）午後３時 05 分
12 月 20 日（日曜日）午後２時 05 分
対戦チーム
東京八王子ビートレインズ
会場
三友エンジニア体育文化センター

詳しくは検索窓に「山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

（注釈）最新の情報はホームページをご覧ください。
問い合わせ　スポーツ振興課　電話番号 023-630-3156

旬のやまがた美食レシピ
赤かぶ漬け入り和風ポテトサラダ

材料（2 人から 3 人分）
じゃがいも 2 個(300 グラム)、赤かぶ漬け 50 から 60 グラム、ツナ缶 1 缶(70 グラム)、★〔小ネギ 15 グラム、マヨネーズ大さじ 3 から 4、麺つゆ(2 倍濃縮) 小さじ 2、鰹節小袋 1 袋(2 グラム)〕
作り方

１　じゃがいもは洗って芽をとり、ラップで包んで電子レンジで加熱（600 ワット・6 分）。
２　赤かぶ漬けは 5 ミリメートル角程度にきざむ。
３　じゃがいもの皮をむき、熱いうちにつぶす。
４　粗熱が取れたら、赤かぶ漬け、油を切ったツナ、★を加え、和えれば完成。

レシピ考案：管理栄養士 榎本美歩氏

赤かぶ（温海かぶ）
収穫時期：10 月から 12 月
赤かぶは、庄内地域を代表する秋冬の味覚の一つです。鶴岡市の一部地域では、伝統的な焼畑農法が今も受け継がれています。中でも温海地域の在来作物「温海かぶ」を使った赤かぶ漬けは、パリッとした歯ごたえと、かぶの甘みの中にほのかに感じる辛みが人気です。大黒様のお歳夜のほか、年越しや正月など、季節の行事には縁起物としても食卓に並びます。

問い合わせ　庄内総合支庁地域産業経済課 電話番号 0235-66-5490

庄内の食材を使ったお手軽レシピを動画で紹介しています。 詳しくはこちら
https://www.instagram.com/syokunomiyako_shounai/?hl=ja&ig_mid=D4F12134-04BB-447A-9581-1200A0859374&utm_source=igweb

＜14 から 15 ページ＞

タイトル　おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和 8 年 9 月 1 日現在（プラスマイナス前月比）
人口総数 978,846 人（前月比マイナス 857 人）
世帯数 398,197 世帯（前月比プラス４世帯）

【募集】
令和 9 年度学生募集
県立産業技術短期大学校（山形市）
募集科

〇デジタルエンジニアリング科
〇メカトロニクス科
〇知能電子システム科
〇情報システム科
〇建築環境システム科
〇土木エンジニアリング科
出願期間
前期　11 月 13 日（金曜日）から 27 日（金曜日）
試験日
１２月６日（日曜日）
出願期間
後期　令和 9 年 2 月 15 日（月曜日）から 3 月 1 日（月曜日）
試験日
令和 9 年３月 7 日（日曜日）
課程　全て２年
問い合わせ　電話番号　023 - 666 - 8792

県立産業技術短期大学庄内校（酒田市）
募集科
〇生産エンジニアリング科
〇情報通信システム科
〇アイティー会計ビジネス科
（注釈）社会人特別入試あり
（生産エンジニアリング科、アイティー会計ビジネス科）
出願期間
推薦　10 月 5 日（月曜日）から 11 月 2 日（月曜日）
試験日
１１月７日（土曜日）
出願期間
前期　１１月９日（月曜日）から１１月２４日（火曜日）
試験日
１１月２８日（土曜日）
出願期間
中期　11 月 30 日（月曜日）から令和 9 年１月 25 日（月曜日）
試験日
令和９年１月 30 日（土曜日）

出願期間
後期　令和９年２月１日(月曜日)から３月 17 日（水曜日）
試験日
令和９年３月 23 日(火曜日)
課程　全て２年
問い合わせ　電話番号　0234 - 31 - 2300

県立山形職業能力開発専門校（山形市）
募集科
〇自動車科
〇建設技術科
出願期間
一般選考　10 月 29 日（木曜日）から 11 月 9 日（月曜日）
試験日
１１月２０日(金曜日)
課程　全て 2 年
問い合わせ　電話番号 023-644-9227

県立庄内職業能力開発センター（酒田市）
募集科
〇金属技術科
出願期間
前期　１０月１日(木曜日)から１１月１８日(水曜日)
試験日
１１月２０日(金曜日)
出願期間
後期　１２月７日(月曜日)から令和 9 年１月 27 日（水曜日）
試験日
令和 9 年 2 月 7 日（日曜日）
出願期間
追加（注釈）定員に達しない場合に限り実施します。　令和 9 年 2 月 15 日（月曜日）から 3 月 10 日（水曜日）
試験日
追加　令和 9 年３月 20 日（土曜日）
課程　１年
問い合わせ　電話番号 0234-31-2700

東北農林専門職大学（新庄市）
募集学科
〇農業経営学科
〇森林業経営学科
出願期間
指定校推薦型選抜　11 月 4 日（水曜日）から 11 月 11 日（水曜日）
試験日
11 月 21 日（土曜日）
出願期間
一般選抜　令和 9 年 1 月 25 日（月曜日）から 2 月 3 日(水曜日)
試験日
令和 9 年 2 月 25 日（木曜日）
課程　全て 4 年
問合せ　電話番号 0233-25-8302

東北農林専門職大学附属農林大学校（新庄市）【通称：山形農林大学校】
募集学科（コース）
〇稲作経営学科
〇果樹経営学科
〇野菜・花き経営学科（野菜コース・花きコース）
〇畜産経営学科
〇農産加工経営学科
〇林業経営学科
出願期間
一般選抜 11 月 17 日（火曜日）から 11 月 24 日（火曜日）
試験日
12 月 2 日（水曜日）
課程全て 2 年
問合せ　電話番号 0233-22-1528

やまがた除雪志隊 隊員募集中！
県では、県内の高齢世帯などの除雪活動にご協力いただけるボランティア「やまがた除雪志隊」を募集しています。「やまがた除雪志隊」に登録いただくと、除雪活動時の交通費、宿泊費、ボランティア保険料を助成する「山形県除雪ボランティア活動支援事業」の補助金をご活用いただけます。

対象者
18 歳以上で健康な方
（注釈）県内外、個人・法人を問わず、どなたでもご登録いただけます。
お申込みや詳細はこちら
https://www.pref.yamagata.jp/020070/kurashi/npo/volunteer/josetsuvolunteer/volunteerregistrationsystem.html
問合せ
消費生活・地域安全課　県民活動・防災ボランティア支援室
電話番号　023-630-3157

【催し物】
県立博物館文化の日 無料開館
みんなで「やまはく」に行こう！文化の日は、県立博物館の入館料が無料です。皆さんのご来館をお待ちしています！
◆イベント内容
〇クイズ de はくぶつかん探検！
当日受付／終日参加可能
クイズを解きながら、山形の自然と文化を楽しく学ぼう！
〇わくわく石器プラバンづくり
当日受付／定員になり次第終了
石器をスケッチして、世界に一つだけのプラバンを作ろう！
詳しくはこちら
https://www.yamagata-museum.jp/exhibition/4773
◆日時
11 月 3 日(火曜日・祝日)午前 9 時から午後 4 時 30 分（入館は午後４時まで）

問い合わせ　県立博物館 電話番号 023-645-1111

【お知らせ】
2027 年版やまがた県民手帳発売！
やまがた県民手帳には、山形県に関する各種統計データのほか、県内のお祭りやイベント、各種レジャー施設などお出かけに便利な情報、くらしの相談ダイヤル、防災のしおりなど暮らしに役立つ情報が満載です。
また、今回は加茂水族館のクーポンを掲載しました！
カバーは２色展開です。
●横罫線タイプ/ネイビー

●カレンダータイプ/パールホワイト
お近くの書店、量販店、コンビニなどでぜひお買い求めください。オンラインショップや当協会へ直接のお申込みもできます。
詳しくはこちら
https://my-site-103184-101021.square.site/

問い合わせ　山形県統計協会　電話番号 023-623-3131

令和９年 10 年度の物品及び役務の調達に係る競争入札参加資格審査申請の定期受付を行います
◆受付期間 令和 8 年 11 月 1 日（日曜日）　から令和 9 年 1 月 31 日（日曜日）
（注釈）紙申請は、閉庁日を除く
◆申請方法 電子申請または紙申請（申請先：県庁会計課または各総合支庁出納室（地域振興局は総務課））
◆資格の有効期間
令和 9 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日（2 年間）

詳しくはこちら
https://www.pref.yamagata.jp/480001/kensei/nyuusatsujouhou/nyuusatsujouhou/teiki.html
（注釈）令和７・８年度競争入札参加資格者名簿に登録されている方も更新の手続きが必要となりますので、忘れずに申請してください。

問い合わせ　会計局会計課 電話番号 023-630-2723

山形県への使用料などの納付がさらに便利になります！
エルキューアールを活用した納付がスタート
県が発行する納入通知書について、「エルキューアール」（地方税統一キューアールコード）を活用した納付が始まりました。令和８年９月 24 日（木曜日）以降、山形県から届く納入通知書にエルキューアールが印字されている場合には、①～③の方法で納付できます。
①全国のエルキューアール対応の金融機関窓口やエーティーエムでの納付
②〇〇ペイ、〇〇払いなどエルキューアール対応アプリでの納付
③エルキューアール対応のクレジットカード・ネットバンキングなどでの納付
対象となる納入通知書には、エルキューアールが印字されておりますので、お

手元の納入通知書をご確認ください。
詳しくはこちら
https://www.pref.yamagata.jp/480001/koukinshunodx0924.html
問合せ　会計局会計課　電話番号 023-630-2342

１１月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」実施月間です
県では、この期間を中心に、児童虐待の防止やこどもの人権に関心を持ってもらうため、「山形県オレンジリボンキャンペーン」を実施します。児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの１本の電話で救われるこどもがいます。児童虐待かもと思ったら、すぐに市町村や児童相談所の窓口に連絡してください。
児童相談所虐待対応ダイヤル
電話番号　１８９（いちはやく）

詳しくはこちら
https://www.pref.yamagata.jp/kenfuku/kosodate/gyakutaiboshi/orangribbon/index.html

問合せ　こども家庭・母子保健課　電話番号 023-630-2260

11 月 10 日（火曜日）から 16 日（月曜日）はアルコール関連問題啓発週間です
多量の飲酒、20 歳未満の者の飲酒、妊婦の飲酒などの不適切な飲酒は、心身の健康障害の原因となります。また、暴力、虐待などで家族へ深刻な影響を与えたり、飲酒運転、自殺などの関連問題の要因となります。飲酒に伴うリスクを正しく理解し、節度ある飲酒をして、健康で長く楽しく上手にお酒と付き合いましょう。
（注釈）節度ある飲酒量は、１日あたり純アルコール約 20 グラム（日本酒１合または、ビール（500 ミリリットル）１本程度）とされています。

問合せ　障がい福祉課 電話番号 023-630-2240

山形県宝くじ情報
県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは山形県内でお買い求めください。
年末ジャンボ宝くじ 10 億円

年末ジャンボミニ 5,000 万円
発売期間 ： 11 月 24 日（火曜日）から 12 月 25 日（金曜日）
詳しくはこちら
https://www.takarakuji-official.jp/
問合せ　財政課　電話番号 023-630-2044

令和８年 10 月 30 日（金）から山形県の最低賃金が改定されました
1 時間 1,032 円から 1,092 円へ
最低賃金以上の賃金が支払われていますか？お確かめください。詳しくは、厚生労働省最低賃金に関する特設サイトをご覧ください。
https://saiteichingin.mhlw.go.jp/
問合せ　雇用・産業人材育成課　電話番号 023-630-3245

高齢者の交通事故防止推進強化旬間（１１月１日(日曜日)から１０日（火曜日））
日没がさらに早まるこれからの時期は、夕暮れ時から夜間にかけて、特に高齢者が関係する事故が増加する傾向にあります。車も自転車も、夕暮れ時以降は早めのライト点灯やハイビームの積極的な活用を意識し、安全運転を心がけましょう。また、歩行者は夕方からの外出時には明るい目立つ色の衣類と反射材用品の活用を心がけ、交通事故を防止しましょう。
https://www.pref.yamagata.jp/020070/bosai/kotsuanzen/koutsuanzenkenminundou.html
問合せ　消費生活・地域安全課　電話番号 023-630-2460

プレゼントクイズ
ヒントは２から 3 ページの特集

戦後 80 年以上が経過し、県では、「〇〇」の資料や記憶を、未来へ確実に引き継ぐための取組みを進めています。さて、〇〇（漢字）には何が入るでしょうか？

正解者の中から抽選で賞品（指定はできません）をプレゼント！はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。また、スマートフォンなどから電子申請によりご応募いただけます。
電子申請での応募はこちらから

https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=21953&accessFrom=

あて先：郵便番号 990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」１１月号プレゼントクイズ係
締め切り：１１月３０日（月曜日）（当日消印有効）　（注釈）応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

県政 150 周年記念賞　【150 名様】
成るほど山形ガチャ　県政 150 周年記念 県民のあゆみ限定カラーキーホルダー
道の駅やまがた蔵王「限定」ガチャを今回に限り特別プレゼント！
道の駅やまがた蔵王（山形市）アンドノビシロデザイン（南陽市）
（注釈）色はお選びいただけません。

Ａ賞　山形県産豚肉使用 熟成ウインナー【５名様】
株式会社ヤマザワ　第６回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」畜水産加工品部門 最優秀賞

Ｂ賞　カキサンド【 10 名様】
株式会社 fe ふぁーむ　第６回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」果実加工品部門 優秀賞

＜16 ページ＞

タイトル　**潜入レポート**

どうなってるの!?
山形地方・家庭裁判所

裁判所って、どんなところなの？

社会の中で起きる権利や義務についての争いごとを、公平に解決しています。

私たちが暮らす社会には、みんなが安心して生活するためのさまざまなルールがあります。それでも、お金の貸し借りなどで意見が合わなかったり、犯罪が起きてしまうことがあります。こうした争いごとや事件を、証拠をもとに法律にしたがって公平に解決するのが裁判所です。裁判官は、それぞれの話を聞き、提出された証拠を確かめながら、何が事実なのかを明らかにして、法律に照らし判断します。また、重大な犯罪を扱う裁判では、一般の市民から選ばれた「裁判員」が、裁判官と一緒に証拠を確認したり、話し合いをして判決にかかわることもあります。事件によって状況や証拠が違うため、さまざまな意見に耳を傾けながら、慎重に考えることが大切です。みんなが安心して暮らせる社会を守るため、公平な立場から争いごとの解決に向き合う。それが裁判所の大切な役割なのです。

写真キャプション１　重大な刑事事件を扱う裁判員裁判では、裁判官の両側に一般の人から選ばれた裁判員が座り、一緒に審理を行います
写真キャプション２　明治時代から現在の場所にあり、現庁舎は４代目です

ヒミツポイント
＜黒は公正さを表す色＞
裁判官が裁判中に着る特別な服は、「法服」と言います。黒色は、何色にも染まらず、公正な判断を下す象徴とされています。
＜傍聴席には記者用の席も＞
裁判の様子を見るための傍聴席です。その一角には、新聞やテレビなどの記者が座る席があり、メモをとるときに使える引き出し式の机がついています。
＜裁判官の仕事部屋＞
裁判がない時には、証拠書類などを読んだり裁判をどう進めるか、判決をどうするかなどについて考えたりしています。
＜みんなで話し合う「評議室」＞
裁判員裁判では、裁判官と裁判員がこの部屋に集まり、有罪か無罪か、有罪の時はどのような刑を科すかなどを話し合います。

山形地方裁判所裁判官
馬場義博（ばばよしひろ）さん
いろいろな人の話を聞き、自分で考えることはとても大切です。18 歳以上になると、「裁判員」として裁判に参加することがありますが、裁判でさまざまな意見を出し合って話し合うことは、皆さんにとっても貴重な経験になると思います。興味を持ったら、ぜひ裁判所の見学や裁判の傍聴に来てみてください。

奥付
山形県広報誌 県民のあゆみ 令和８年 11 月号 654 号
奇数月 1 日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課
郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目 8 番 1 号 電話番号 023-630-2534
表紙題字　山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス　https://www.pref.yamagata.jp/